

6 高等学校 芸術科 (音楽) 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 次の1～3に答えなさい。

1 次の短歌を基に、下の【条件】に従って作曲し、解答欄の五線譜に書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【条件】

- ① ピアノ伴奏付きの独唱曲とすること。ただし、前奏、間奏及び後奏については必要としない。
- ② 調は変ロ長調とすること。
- ③ 拍子は単純拍子とすること。
- ④ 長さは、16小節を超えないこと。
- ⑤ 曲の冒頭に長七の和音を用いること。
- ⑥ 曲の途中で、曲想を変化させること。
- ⑦ トニックで終止すること。
- ⑧ メヅ・スタッカートを用いること。
- ⑨ ポルタメントを用いること。

2 次の(1)～(4)の世界の諸民族の音楽に関する語句の説明として適切なものを、下の(ア)～(キ)のうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

(1) ケチャ (2) オルティンドー (3) カッワーリー (4) ヨーデル

- (ア) パキスタンなどに伝わる宗教的な歌。主唱者とコーラスが交互に歌う。伴奏には、ハルモニウムなどが用いられる。
- (イ) ペルシア語で「声」を意味する。拍節のない自由なリズムで演奏される音楽。
- (ウ) 台湾の先住民の音楽。リーダーが発した低音の歌声に合わせてハーモニーを重ね、徐々に音域を高めていく。
- (エ) 裏声と地声を交互に組み合わせる歌唱法を特徴とする音楽。牧畜作業に伴って歌われてきた。
- (オ) 男性の集団が輪になって座り、リズムを刻むような言葉を唱えながら、体を揺り動かし踊るもの。
- (カ) モンゴルに伝わる民謡の一つ。拍のない音楽で、コブシのような細かい節回しの特徴。
- (キ) 一人で2つの音を発する唱法。

3 次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 三曲合奏とはどのようなものですか。書きなさい。

(2) 次の①～④の尺八の奏法に関する説明として適切なものを、下の(あ)～(お)のうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

① スリ上げ ② コロコロ ③ メリ ④ タマネ

- (あ) 顎を引き、下唇で歌口を狭くして音高を下げる奏法。
- (い) 舌、または喉を震わせながら吹く奏法。
- (う) 閉じた指孔を徐々に開けて、音高を上げる奏法。
- (え) 顎を出し、歌口を広く開けて音高を上げる奏法。
- (お) 三孔を閉じ、四、五孔は指で覆うような状態にしたまま、一孔と二孔を交互に開閉する奏法。

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 2 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽I 内容 A 表現 (3) には、次のように示されています。

(3) 創作

創作に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫すること。
 イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。
 ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。
 (ア) 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能
 (イ) 旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能
 (ウ) 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能

ア、イ及びウ(イ)を組み合わせた題材を設定する場合、どのような学習活動が考えられますか。次に示された生徒の状況を踏まえ、題材名を挙げて、3時間で扱う学習活動を書きなさい。ただし、用いる音階は、教会旋法とします。

生徒の状況	<対象年次> 1年次
	生徒はこれまでに、ドリア旋法が用いられている「スカボロー・フェア」(P.サイモン作曲)を歌唱する活動を行った。

- 3 「音楽I」の鑑賞の授業において、交響詩「魔法使いの弟子」(デュカース作曲)を教材として取り上げました。生徒は、「焦っている感じがする。」「おもしろい曲だ。」といった表層的な捉えに留まり、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことは十分ではありません。生徒が、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えるためには、どのような指導が考えられますか。教材曲の特徴に触れて、具体例を2つ書きなさい。

- 4 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽I 3 内容の取扱い (5) には、次のように示されています。

(5) 内容の「A表現」の指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。


下線部「視唱と視奏及び読譜と記譜の指導」に当たっては、どのようなことに留意する必要がありますか。書きなさい。

6

高等学校 芸術科 (音楽) 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄
1	1	 <p>A large area containing ten sets of five horizontal lines, intended for musical notation. A diagonal watermark 'kyosai-guild' is visible across the center.</p>

6

高等学校 芸術科 (音楽) 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄				
1	2	(1)				
		(2)				
		(3)				
		(4)				
	3	(1)	kyosai-guild			
		(2)			①	
					②	
					③	
					④	

6

高等学校 芸術科 (音楽) 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄			
2	題材名 ()			
	<table border="1"><thead><tr><th>時間</th><th>学習活動</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table>	時間	学習活動	
時間	学習活動			

※ 必要に応じて線を引いてもよい。

6

高等学校 芸術科 (音楽) 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄
3	
4	

kyosai-guild

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点			
1	1	※ 別紙（計1枚）		問いを正しく捉えて いれば、内容は異なっ てよい。	50	95	
	2	(1)	(オ)		各 5 × 4		
		(2)	(カ)				
		(3)	(ア)				
		(4)	(エ)				
	3	(1)	箏、三味線、尺八（又は胡弓）の3種の楽器で合奏すること。		内容を正しく捉えて いれば、表現は異なっ てもよい。		5
		(2)	①	(う)			各 5 × 4
			②	(お)			
			③	(あ)			
			④	(い)			

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点								
2	<p>題材名（教会旋法の特徴を生かして旋律をつくろう）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">時間</td> <td style="text-align: center;">学習活動</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○教会旋法の特徴を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「スカボロー・フェア」で用いられているドリア旋法を基に、自由に音を出してみる。 ・他の教会旋法を基に、自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、それぞれの音階の特徴を共有する。 ○教会旋法を用いた短い旋律をつくりながら、音を連ねたときの響きの特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの楽器で、ドリア旋法や他の教会旋法を用いた短い旋律をつくる。 ・音色による感じ方の違いや、音の連ね方による感じ方の違いについて話し合う。 ・教会旋法で音楽をつくることを確認する。 ○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの教会旋法を基に、即興的に音を出す。 ・分かったことや気付いたことをワークシートに書く。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○表したいイメージをもち、音階の特徴や音を連ねたときの響きの特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの教会旋法を基に、様々な楽器を用いて即興的に音を出しながら、表したい音楽のイメージを膨らませる。 ・音色や音階の組合せを工夫しながら、創作表現について考える。 ・表したいイメージについて、実際に教会旋法を用いた旋律をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かな夜に、星が神秘的に輝く様子 ・戦いに疲れた勇者が、古びた村にたどり着いた様子 ・五穀豊穡を願う村人が祭りで踊る様子 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。 ・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○音階や音を連ねたときの響きの特徴と表したいイメージとを関わらせて、創作表現を創意工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。 ・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。 ・つくった旋律を発表し、全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。 ○題材のまとめと振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教会旋法の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて全体で意見交換をする。 ・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。 </td> </tr> </table>	時間	学習活動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○教会旋法の特徴を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「スカボロー・フェア」で用いられているドリア旋法を基に、自由に音を出してみる。 ・他の教会旋法を基に、自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、それぞれの音階の特徴を共有する。 ○教会旋法を用いた短い旋律をつくりながら、音を連ねたときの響きの特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの楽器で、ドリア旋法や他の教会旋法を用いた短い旋律をつくる。 ・音色による感じ方の違いや、音の連ね方による感じ方の違いについて話し合う。 ・教会旋法で音楽をつくることを確認する。 ○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの教会旋法を基に、即興的に音を出す。 ・分かったことや気付いたことをワークシートに書く。 	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○表したいイメージをもち、音階の特徴や音を連ねたときの響きの特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの教会旋法を基に、様々な楽器を用いて即興的に音を出しながら、表したい音楽のイメージを膨らませる。 ・音色や音階の組合せを工夫しながら、創作表現について考える。 ・表したいイメージについて、実際に教会旋法を用いた旋律をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かな夜に、星が神秘的に輝く様子 ・戦いに疲れた勇者が、古びた村にたどり着いた様子 ・五穀豊穡を願う村人が祭りで踊る様子 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。 ・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。 	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○音階や音を連ねたときの響きの特徴と表したいイメージとを関わらせて、創作表現を創意工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。 ・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。 ・つくった旋律を発表し、全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。 ○題材のまとめと振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教会旋法の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて全体で意見交換をする。 ・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。 	<p>題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	65
時間	学習活動										
第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○教会旋法の特徴を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「スカボロー・フェア」で用いられているドリア旋法を基に、自由に音を出してみる。 ・他の教会旋法を基に、自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、それぞれの音階の特徴を共有する。 ○教会旋法を用いた短い旋律をつくりながら、音を連ねたときの響きの特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの楽器で、ドリア旋法や他の教会旋法を用いた短い旋律をつくる。 ・音色による感じ方の違いや、音の連ね方による感じ方の違いについて話し合う。 ・教会旋法で音楽をつくることを確認する。 ○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの教会旋法を基に、即興的に音を出す。 ・分かったことや気付いたことをワークシートに書く。 										
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○表したいイメージをもち、音階の特徴や音を連ねたときの響きの特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの教会旋法を基に、様々な楽器を用いて即興的に音を出しながら、表したい音楽のイメージを膨らませる。 ・音色や音階の組合せを工夫しながら、創作表現について考える。 ・表したいイメージについて、実際に教会旋法を用いた旋律をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かな夜に、星が神秘的に輝く様子 ・戦いに疲れた勇者が、古びた村にたどり着いた様子 ・五穀豊穡を願う村人が祭りで踊る様子 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。 ・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。 										
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○音階や音を連ねたときの響きの特徴と表したいイメージとを関わらせて、創作表現を創意工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。 ・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。 ・つくった旋律を発表し、全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。 ○題材のまとめと振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教会旋法の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて全体で意見交換をする。 ・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。 										

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
3	<p>例えば、同一曲を異なる奏者の演奏で聴かせ、「それぞれの演奏から、魔法をかけられたほうきの動きをどのように想像しましたか。」 「同じ曲なのに、なぜそのような違いを感じたのでしょうか。」と問うなど、生徒が曲想や表現上の効果を感じ取り、感じ取った理由を、音楽の構造の視点から自分自身で捉えていく過程を重視した指導。</p> <p>例えば、「魔法をかける前のほうきは、クラリネットで演奏される旋律がまるでため息のように聴こえたけれど、魔法をかけた後のほうきは、ファゴットの独特な音色が旋律のおどけた感を強調していて、ほうきの性格まで変わってしまったように感じられる。この曲は、オーケストラで演奏されるからおもしろい。」など、曲や演奏について、曲や演奏を聴いて感じ取った自己のイメージや感情、曲想と音楽の構造との関わりなどを根拠に批評する活動などを取り入れた指導。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。</p>	<p>各 15 × 2</p> <p>30</p>
4	<p>視唱や視奏、読譜や記譜などを、音楽活動と切り離して単独で扱うのではなく、「A表現」の学習の過程に位置付け、「知識及び技能」の習得や「思考力、判断力、表現力等」の育成と関わらせて扱うようにする必要がある。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。</p>	<p>10</p>

1

1

Kyosai-guild

著作権保護の観点により、掲載いたしません。